

景観マネジメント部門



宝塚市山本地区で行ったワークショップを用いたまちづくり

The workshop which was held at Yamamoto District in Takarazuka City.

要約

宝塚市山本地区で行ってきた地域環境改善及び地域活性化に関する研究から、ワークショップの検証を行った。課題の抽出や提案、行動計画の策定と実施に至る合意形成と参画の重要性が考察された。また、それぞれの立場からの役割分担も重要であることが理解された。

<http://www15.plala.or.jp/h-mayumi/>

研究者

林 まゆみ
HAYASHI Mayumi

まちづくりの分野では合意形成や活動にワークショップ(以下WS)という手法が使われることが多い。本報告では、兵庫県宝塚市山本地区で行った花と緑のまちづくりにおける参加型の計画と活動は、どの様にすればより効果的であるかを考察した。山本地区は、日本三大植木産地として有名で、同時に大阪への通勤圏として利便性が高い農住混在地。植木圃場の多くは生産緑地に指定され、保全が目指されている。阪神・淡路大震災で大被害を受けた後、宅地開発が進行し、地域環境の改善が求められてきている。

環境悪化の要因としては、植木産業の停滞など

緑地としての植木圃場の維持が難しくなっていることも挙げられる。当地は、1.2haの公園とそれに隣接する宝塚園芸振興センターを併設した「あいあいパーク」が平成12年4月にオープンし、TGC(株)によって管理運営されている。

本課題は、継続して5年間の活動を行ってきた。行政、専門家、広域NPO、地元住民の連携と協働したものである。フリーハンド(内容設定が自由)という特徴を持っている。課題の抽出から、アクションプログラムの策定と実施、その検証までを含めて参加型の活動として設定した。その結果以下の事柄が考察された。



① 植木生産業者の庭園



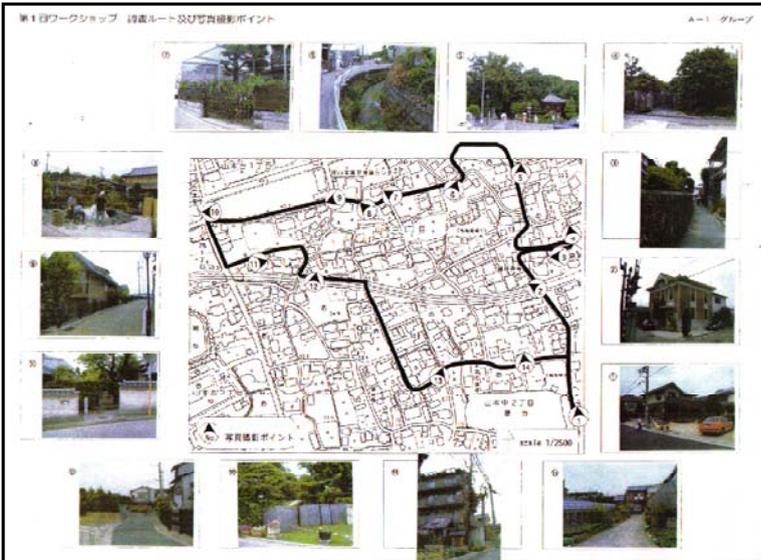
② 守りたい都市の中の緑の圃場



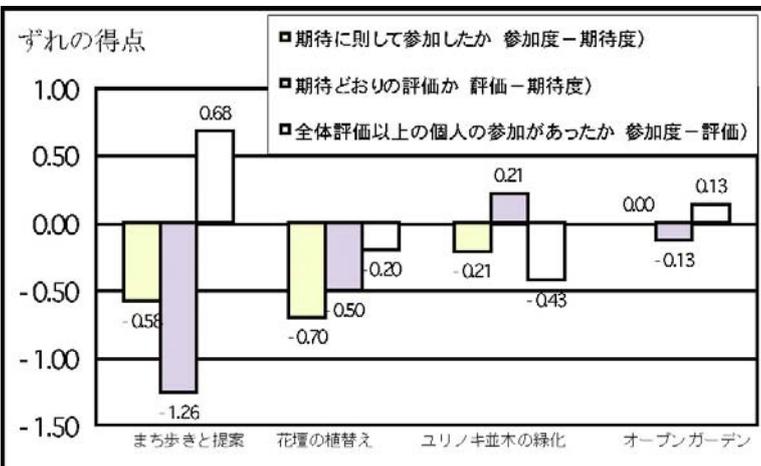
ユリノキ並木の緑化



オープンガーデン



③ 地域住民でまち歩きを行い、良い点、課題を出す



⑤ 参加度, 期待度, 評価のずれ

表-3 WSによって抽出された長中短期的課題

課題の抽出から展望への流れ	長期的課題	中期的課題	短期的課題	実現したAP
	行政課題	地域課題	住民課題	
	法制度などの課題 都市計画事業	植木産業としての課題 産業の活性化	まちづくり生活環境としての課題 地域資源の活用	
	インフラ整備	先行きの展望	自治会等団体の活動	アクションプログラムの作成
	生産緑地法の見直し 縦割り運営について	後継者問題 組織的運営について	地域住民と各種組織の連携、合意形成 専門家との役割分担	
	長期的展望 総合計画等の検討	中期的展望 植木業と地域住民の連携	短期的展望 親水空間の活用	APの実践計画 天神川の修景プラン作成
	都市計画事業の具体化	植木品目等の見直し	コミュニティの活性化	あいあいパークの緑化
	生産緑地法の改善	産業の魅力アップ	緑化の可能性とその技術検討	街路緑化、まちなみ緑化
	税制への提案	地域での発信 情報提供	地域づくりへの取り組み	オープンガーデンの開催
	行政組織の改革	互連絡の改善	情報発信連絡体制の向上	街区公園の計画 あいあいパークのプロムナード整備 松尾神社の整備
	課題と展望の期間の長さ			

④ まち歩きによる長・中・短期的課題と展望

WSでは、まち歩きをして良い点や課題を抽出した。また長・中・短期的の課題と展望を整理し、アクションプログラムを作成した。このアクションプログラムを遂行する中で、期待度と参加度、評価のずれが縮小した。また各自の役割分担も重要であった。